

令和４年度 年間指導・評価計画

教科	国 語	学年	第Ⅰ学年	担当	千田泰暉 瀧澤加奈 門前真紀子
----	-----	----	------	----	-----------------

【教科の目標】

- (１) 課題に対して根拠をもとに考えることができる。
- (２) 分かりやすく自分の考えを説明することができる。
- (３) 話し合いなど、他との交流を通して考えを深めることができる。
- (４) 漢字や文法の学習を通して、語句への理解を深めることができる。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学 習 活 動
Ⅰ 学 期	4	○朝のリレー ○野原はうたう	●気持ちが伝わるように、声に出して読む。 ●情景や登場人物の気持ちを想像し、表現を味わう。
	5	○シンシユン ○分かりやすく説明する ○漢字の組み立てと部首	●描写を基に場面の展開や、人物の心情の変化を捉える。 ●情報の整理の仕方を理解し、文章にまとめる。 ●漢字の組み立てと基本的な部首について理解する。
	6	○ダイコンは大きな根？ ○ちょっと立ち止まって ○好きなことをスピーチで紹介する ○言葉のまとまりを考えよう ○情報を集めよう	●段落の役割に着目して読む。 ●文章の構成に着目して読む。 ●どうすれば自分の好きなものの魅力が伝わるか工夫してスピーチする。 ●言葉の単位（「文節」「単語」）について理解する。 ●目的に応じた情報の集め方を考える。
	7 ・ 8	○詩の世界 ○比喻で広がる言葉の世界 ○指示する語句と接続する語句	●表現の特徴を捉え、描かれた情景を想像する。 ●比喻などの表現の役割を押さえて読み、内容を捉える。 ●指示する語句と接続する語句の役割を理解する。
	9	○大人になれなかった弟たちに…… ○星の花が降るころに ○書写「行書の書き方を学ぼう」	●人物の行動や情景描写から心情を読み取る。 ●場面の展開に着目して、人物の心情の変化を読み取る。 ●行書の特徴を知り、筆づかいを意識して書く。
	10	○方言と共通語 ○漢字の音訓 ○「言葉」をもつ鳥シジュウカラ ○根拠を示して説明しよう	●共通語と方言の果たす役割を理解する。 ●漢字の音訓について理解する。 ●事実と意見の関係に注意して読み取る。 ●根拠を明らかにして説得力のある文章を書く。

学 期	10	○話題や方向を捉えて話し合おう。	●話題や方向を捉えて、建設的に話し合う。
	11	○いろは歌 ○蓬萊の玉の枝 ○今に生きる言葉	●古文の言葉の響きや、調子に読み慣れる。 ●仮名遣いに注意して音読し、古典に読み慣れる。 ●漢文特有の言い回しに読み慣れる。文章の要旨を捉える。
	12	○「不便」の価値を見つめ直す ○助言を自分の文章に生かそう ○言葉の関係を考えよう ○書きぞめ	●筆者の考えを捉え、要約する。 ●作品の内容や魅力を分析し、観点を定めて書評を書く。 ●「文の組み立て」について理解する。 ●行書の特徴を理解して書写に取り組む。
	1	○少年の日の思い出 ○単語の性質を見つけよう	●展開に応じて人物の心情の変化を捉え、作品を読み深める。 ●「単語の分類」について理解する。
	2	○構成や描写を工夫して書こう	●書き出しや描写を工夫して、印象に残る文章を書く。
	3	○一年間の学びを振り返ろう	●材料を集めながら今年一年間の学びを振り返り、学習のまとめを作成する。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子（発表・対話の様子）	○	○	○
提出物からの読み取り	○	○	○
定期考査	○	○	
単元テスト・小テスト	○	○	○
作品・作文（夏季・冬季休業中の課題）		○	○

【学習アドバイス】

○学習前の準備

- ・教科書の音読や語句の意味調べを行いましょう。
- ・教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。
- ・漢字テストに向け、繰り返し練習に取り組みましょう。

○授業

- ・課題や話し合いに集中して取り組み、言葉に対する理解を深めましょう。
- ・自分の考えをいろいろな人と交流して、視野を広げましょう。
- ・話を聞いてメモを取る習慣をつけましょう。
- ・根拠を示して答えられるようにしましょう。

○復習

- ・ノートやプリントの整理を通して、授業を振り返りましょう。
- ・「新・基礎の学習 国語Ⅰ」に繰り返し取り組み、問題に慣れましょう。

令和４年度 年間指導・評価計画

教科	国 語	学年	第２学年	担当	千田 泰暉 富樫 千尋
----	-----	----	------	----	-------------

【教科の目標】

- (１) 課題に対して根拠をもとに考えることができる。
- (２) 分かりやすく自分の考えを説明することができる。
- (３) 話し合い等，他との交流を通して考えを深めることができる。
- (４) 漢字や文法の学習を通して，語句への理解を深めることができる。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
Ⅰ 学 期	4	○見えないだけ ○アイスプラネット	●表現に着目し，題名に込められた作者の思いを捉える。 ●詩の特徴を生かして朗読する。 ●登場人物の言動や心情を表す表現から，「僕」の心情の変化を捉える。
	5	○枕草子 ○熟語の構成 ○クマゼミ増加の原因を探る	●古文のリズムに親しみ，情景描写の巧みさを味わう。 ●作者のものの見方や感じ方に触れ，自分の考えをもつ。 ●熟語の構成についての理解を深める。 ●全体と部分，文章と図表の関係に着目して，説明の仕方の特徴を捉える。
	6	○魅力的な提案をしよう プレゼンテーション ○単語をどう分ける？ ○メディアを比べよう メディアの特長を生かして 情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	●資料や機器を活用し，写真や図表と言葉を組み合わせで説明する。 ●活用のある自立語と活用のない自立語の，性質や働きを理解する。 ●メディアの特徴を理解し，目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。 ●情報を受け取るときの留意点を考える。
	7	○短歌に親しむ ○短歌を味わう ○言葉の力 ○類義語・対義語・多義語	●五音・七音のリズムに親しみ，描写から情景を想像し味わう。 ●筆者のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。 ●類義語，対義語，多義語について理解する。
	9	○盆土産 ○字のない葉書 ○表現を工夫して書こう ○書写「手紙を書こう」 ○敬語	●言動や様子の描写に着目して，人柄や心情を読みを深める。 ●伝えたい気持ちや用件を明確にし，表現や構成を工夫して書く。 ●仮名と漢字の調和を意識して手紙を書く。 ●敬語の正しい使い方を理解する。
	10	○同じ訓・同じ音を持つ漢字 ○モアイは語る ○根拠の適切さを考えて書こう ○立場を尊重して話し合おう	●同訓異字・同音異義語について理解する。 ●文章の構成や論の展開に着目して，筆者の主張を捉える。 ●自分の意見と根拠を明確にして，効果的に伝わるように文章構成などを工夫して書く。 ●異なる立場や考えを想定して考えをまとめ，論理的な構成を考えて話す。

学 期	11	○扇の的 ○仁和寺にある法師 ○漢詩の風景	●古典特有の読み方やリズムに注意して朗読する。 ●作品の冒頭の暗唱に挑戦する。 ●古人のものの見方や考え方をとらえる。
	12	○君は「最後の晩餐」を知っているか ○魅力を効果的に伝えよう ○用言の活用 ○書きぞめ	●語句や表現の工夫に着目して、筆者のものの見方や考え方を読み取る。 ●読み手を意識し、表現の効果を考えて鑑賞文を書く。 ●用言の種類やはたらき、活用について理解する。 ●行書の特徴を理解して練習する。
	1	○走れメロス ○付属語	●心情を表す語句や、登場人物の言葉の意味などを考え、人物像の変化を捉え、作品を読み深める。 ●表現の仕方を工夫して創作する。 ●付属語について理解する。
	2 3	○構成や展開を工夫して書く ○話し言葉と書き言葉 ○国語の学びを振り返ろう ○木	●場面の展開が明確になるように工夫しながら物語を書く。 ●互いに読み合い、意見や感想を交流して自分の表現に役立てる。 ●音声の特徴から話し言葉を捉え、文字の特徴から書き言葉を捉える。 ●材料を集めながら今年一年間の学びを振り返り、学習のまとめを作成する。 ●表現の意味を考え、作者のものの見方について語り合う。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子（発表・対話の様子）	○	○	○
提出物からの読み取り	○	○	○
定期考査	○	○	
単元テスト・小テスト	○	○	○
作品・作文（夏季・冬季休業中の課題）		○	○

【学習アドバイス】

○学習前の準備

- ・教科書の音読や語句の意味調べを行いましょう。
- ・教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。
- ・漢字テストに向け、繰り返し練習に取り組みましょう。

○授業

- ・課題や話し合いに集中して取り組み、言葉に対する理解を深めましょう。
- ・自分の考えをいろいろな人と交流して、視野を広げましょう。
- ・話を聞いてメモを取る習慣をつけましょう。
- ・根拠を示して答えられるようにしましょう。

○復習

- ・ノートやプリントの整理を通して、授業を振り返りましょう。
- ・「新・基礎の学習」や、「すらすら基本文法」に繰り返し取り組み、問題に慣れましょう。

令和4年度 年間指導・評価計画

教科	国 語	学年	第3学年	担当	瀧澤加奈 遠藤勝憲
----	-----	----	------	----	-----------

【教科の目標】

- (1) 課題に対して根拠をもとに考えることができる。
- (2) 分かりやすく自分の考えを説明することができる。
- (3) 話し合い等、他との対話を通して考えを深めることができる。
- (4) 漢字や文法の学習を通して、語句への理解を深めることができる。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
1 学 期	4	○俳句の可能性 ○俳句を味わう ○世界はうつくしいと	●俳句のおおよそを理解し、親しむ。 ●俳句を読み味わう。 ●詩の特長を生かして朗読する。
	5	○握手 ○学びて時にこれを習ふ ○熟語の読み方 ○作られた「物語」を超えて	●登場人物の生き方から、人の生き方について考える。 ●登場人物の言葉や動作から、人柄や心情を捉える。 ●「論語」を読み、孔子のものの見方や考え方について自分の意見をまとめる。 ●熟語の構成をつかみ、熟語の読み方の原則を理解する。 ●論理展開に着目して筆者の主張を捉える。 ●筆者のものの見方や考え方から、人間や社会について考えを深める。
	6	○説得力のある構成を考えよう ○文法を生かす	●目的や相手、場に応じた情報を集め、スピーチの構成を練る。 ●普段使っている言葉を見つめ直し、表現力を豊かで確かなものにしていく。
	7	○報道文を比較して読もう	●二つの報道文を比較し、その論理展開の違いを捉える。
	8	○言葉を選ぼう ○和語・漢語・外来語	●語彙を豊かにし、適切に言葉を選ぶ。 ●語種とその性質を知り、性質に応じて使い分ける。
	9	○挨拶 ○故郷 ○慣用句・ことわざ・故事成語	●作者のものの見方や考え方に着目し、人間や社会について考え自分の意見をもつ。 ●情景や人物を描写する語句や表現に着目して読む。 ●慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。
	10	○人工知能との未来 ○人間と人工知能と創造性 ○多角的に分析して書こう	●文章の比較を基に、自分の考えを広げる。 ●観点を決めて分析し、具体的な根拠を基に自分の考えを書く。
	11	○合意形成に向けて話し合おう ○古今和歌集 仮名序 ○君待つと ○夏草	●話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。 ●課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。 ●伝統的な言語文化としての和歌・俳諧の世界を味わう。 ●和歌や紀行文を読み、古人の心情を読み取るとともに、鑑賞文を書く。

2 学 期	12	○書きぞめ ○誰かの代わりに ○情報を読み取って文章を書こう ○文法のまとめ ○エルサルバドルの少女ヘスース ○温かいスープ	●1, 2年生で学習したことを生かして, 作品を仕上げる。 ●社会や人間に対する筆者の考えについて, 自分の考えをまとめる。 ●グラフから情報を客観的に読み取り, 分析した内容を基に小論文を書く。 ●これまでの文法学習を確認し, まとめる。 ●世界の状況に目を向け, 生き方や社会の在り方について考える。 ●文章の論理の展開のしかたを捉え, 筆者の主張を理解し, 自分の生き方について考える。
	1 2 3	○わたしを束ねないで ○三年間の歩みを振り返ろう ○テスト対策プリント	●作者の思い, ものの見方や感じ方を捉え, 「自分らしい生き方」を考えるきっかけとする。 ●3年間の学習について振り返る。 ●問題演習を通して, これまでの学習を振り返る。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子（発表・対話の様子）	○	○	○
提出物からの読み取り	○	○	○
定期考査	○	○	
単元テスト・小テスト	○	○	○
作品・作文（夏季・冬季休業中の課題）		○	○

【学習アドバイス】

○学習前の準備

- ・教科書の音読や語句の意味調べを行いましょう。
- ・教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。
- ・漢字テストに向け, 繰り返し練習に取り組みましょう。

○授業

- ・課題や話し合いに集中して取り組み, 言葉に対する理解を深めましょう。
- ・自分の考えをいろいろな人と交流して, 視野を広げましょう。
- ・話を聞いてメモを取る習慣をつけましょう。
- ・根拠を示して答えられるようにしましょう。

○復習

- ・ノートやプリントの整理を通して, 授業を振り返りましょう。
- ・「新・基礎の学習 国語Ⅰ」や, すらすら基本文法に繰り返し取り組み, 問題に慣れましょう。

○授業とは別に

- ・文法や言語に関する知識について, まとめたり, 調べたりしてみましょう。
- ・当該学年だけでなく, これまで学習した漢字の復習に取り組みましょう。
- ・問題演習に取り組み, 教科書以外の文章を早く的確に読み取り, 答える練習をしましょう。